

INTACT データベース Q&A 集

Ver.1.6

2013/06/25

Question1 <ROPの診断日齢>

【質問例】「ROP診断日齢」という項目が追加されていますが、どの時点の日齢を記載したらいいでしょうか？当院ではD-lineを形成した時点（国際分類ではstage1、厚生省分類では2期）をROP発症日と考え、診療を行っておりますが、それでよろしかったでしょうか？

【質問例】「ROPの診断日齢」については、眼科の先生に診断してもらおうと思うのですが、stageとか、何か決まった指標がありますでしょうか。

【回答】Demarcation lineの形成（国際分類stage1、厚生省分類2期）をもって、ROP発症と診断します。眼底診察によりROP発症なしの場合、病期はII以下を入力して下さい。

Question2 <出血後水頭症の診断日齢>

【質問例】「頭蓋内出血後水頭症の診断日齢」については、水頭症の治療（例えばリザーバーなど）が必要となった日でしょうか。

【回答】単なる脳室拡大ではなく、IVH後、腰椎穿刺や外シャント、リザーバー留置など除圧処置を要する状態となった場合、出血後水頭症と診断します。この項目は、脳室内出血症例のみ、入力して下さい。

Question3 <低酸素性虚血性脳症診断日齢>

【質問例】「低酸素性虚血性脳症診断日齢」については、MRIや臨床症状など今回はどちらか指標にするものが決まっているのでしょうか。

【回答】頭部超音波、CT、MRIで異常を認める低酸素性虚血性脳症（HIE）について、臨床的にHIEと診断した日齢をご回答下さい。

Question4 <慢性肺疾患の定義>

【質問例】「慢性肺疾患」の定義に関してですが、Nasal CPAP（NCPAP）を装着していれば酸素は不要けれども、NCPAPが外せない症例はCLDとしてよいでしょうか（もちろん気道病変などは主治医の判断で除外してですが）。

【回答】生後28日を越えて、レントゲン所見を伴い、酸素投与または呼吸補助を必要とする症例を慢性肺疾患CLDと診断します。

Question5 <慢性肺疾患の診断日齢>

【質問例】「慢性肺疾患の診断日齢」に関しては、酸素投与期間が生後28日以上または、受胎後週数で36週以上のどちらでしょうか。36週の時点の日齢を記載してよろしいでしょうか？

【回答】わが国で慢性肺疾患と言え、日齢28での診断になりますので、この診断日齢を問う項目は不適切でした。データベースの仕様に修正が入るまで、慢性肺疾患と診断した場合には、28と入力をお願い致します。（入力を省略していただいても結構です。）

Question 6 <母体ステロイド投与>

【質問例】母体ステロイド投与日は、最初の日付のみ記載すればよいのか。同じクールだが、2日目の日付も入力するのか。

~~【回答】母体ステロイド投与は、投与クルールの初日を記載されるようお願い申し上げます。同じクルールの2日目につきましては、記載の必要はございません。~~

【回答】出生日より起算し、何日前という形式で、投与毎に入力して下さい。

例. 出生当日の場合、0。出生前日の場合、1。

※同日に2回投与された場合、同じ日を2回、入力して下さい。

Question 7 <出生年の誤登録>

【質問例】出生年を誤って登録してしまいました。どのように修正すればよろしいでしょうか？

【回答】本項目は、患者登録番号に関わるため、修正不能です。誤登録された情報を削除の上、再入力が必要となりますので、支援室までご連絡下さい。

Question 8 <初回サーファクタント投与時間>

【質問例】初回サーファクタント時間（分）とは、例えば「分娩室で、出生〇〇分後に注入した」ということでしょうか？もしそうであれば、分単位でなく、時間単位、日単位の後にサーファクタント注入をした症例はどうしたらよいでしょうか？

サーファクタント投与は、分娩室に限らず、NICUに入院してから投与したものも含まれます。ただし単位が分ですので、基本的には、数時間以内の投与についての情報収集を意図しております。ご指摘の通り、日単位で時間が経過した場合については、通常のサーファクタント使用と病態、意味合いがかなり異なってくると思いますが、可能な範囲で、ご入力下さい。実際、入力上限値が999（分）（=16.6時間）となっておりますので、それ以上の場合は、999と入力して下さい。